

桂坂山の手倶楽部だより (第2号)

平成17年11月1日発行
桂坂山の手倶楽部だより編集委員会

シンボルマークが決まる！

平成17年9月4日に開催された今年度の第1回合同会議に於いて、当倶楽部のシンボルマークが決まりました。会員の皆様から応募された12点の中から、投票により事務局提案の右のマークが採択されました。「かつら」の葉をイメージした「幸せを呼ぶ四つ葉のクローバ」に「桂坂」と「山の手」の字を入れたシンプルなデザインです。

今後、このシンボルマークを会員の皆様に親しんで頂くよう出来るだけ活用していきたいと考えています。



役員会だより

1. 第1回合同会議 (9/4)

- 1) 当倶楽部のシンボルマークについての検討の結果は、上記の通りです。
- 2) 分科会助成金について検討の結果、役員会の原案通り「分科会助成金をなくし、代わりに年会費を1,200円削減して、1,800円にする。年会費徴収は手続き料削減のため年2回から1回に変更する。分科会をなくし、同好会に一本化する。」との確認を致しました。
これに伴い会則の改訂が必要になりますので、最終決定は来年4月の総会で行われることになります。

2. 第3回役員会 (10/8)

- 1) 分科会助成金廃止等倶楽部運営方法の変更に伴い、会則と役員会覚書の改訂案の検討を行いました。更に検討を加え、総会の議案書に載せる予定です。尚、分科会を同好会に一本化するのに伴い、同好会結成の条件として、会員総数の概ね3%以上の会員を必要とすることに致しました。
- 2) 一部の会員が取り組んでおられる「会員助け合い活動 (仮称)」について検討をしましたが、課題が多いので当倶楽部全体での制度化は見合わせ、小規模で出来ることから取り組んでいくことになりました。
- 3) 一部の会員から提案のあった「会員証」の発行については、必要性に疑問視する意見が多く今回は見合わせることになりました。一方、懇親会等の参加者の名札は次回から準備することになりました。
- 4) 先の合同会議で合同会議の必要性について疑問視する意見がございましたが、これからの同好会がばらばらになるのを防ぐためにも合同会議は大切であるとの確認を致しました。

分科会だより



書道、一筆画、俳句、写真、園芸分科会

10月27日～28日に開催された第12回「趣味の作品展」は成功裏に終わることが出来ました。会員の皆様方のご協力どうもありがとうございました。

その他のお知らせ

京都市老人クラブ大会報告

9月26日京都会館に於いて開催された表記の大会で、当倶楽部から次の方々表彰されました。受賞された会員の皆様おめでとうございます。

- (1) 金婚のお祝い
第1倶楽部 村上 實、久子 ご夫妻
第2倶楽部 喜多 康雄、みどり ご夫妻
- (2) 長寿(90歳)のお祝い
第1倶楽部 吉田 小志げ さん
第4倶楽部 宮本 三之丞 さん
- (3) 永年勤続表彰
第4倶楽部 山本 昭 さん



会員投稿欄

1. 桂坂のよさ

第1倶楽部 松尾 隆夫 氏

- 桂坂には数々のよさがあるので、今まで見聞した事をまとめてみた。
- 開発・(株) 西洋環境開発が開発に着手、途中から労働者住宅生活協同組合との2社による開発となる。西洋の今までの開発ノウハウや世界各国、国内のいい所を参考にしたり、学識経験者の意見を参考にしたりして今の基本が出来たと聞き及ぶ。
 - 水系・水による地崩れや、洪水が無いように5本の水系を作り、途中北杵掛6丁目の桂坂最南端とロータリー南東部と西地区の9号線出入口付近の3ヶ所に沈砂池を作り、砂や泥が川に流れ込まないようにしてある。
 - 道路・桂坂への出入りの道路は3本あり、中央には日本では珍しいロータリーを作り、又、人と車の共生をめざし、生活道路は出来るだけT字路とし、フォルト(樹木の植わった出っ張り)やハンプ(道路端の凸部)等のボンネフル道路で車のスピードが出ないように設計されている。
 - 水道・中学校の裏に水道局のポンプ場があり、山の中腹の2つのタンクとポンプ場の地下の水槽に一旦汲み上げ、中腹のタンクからは桂坂北半分の高所に、ポンプ場の水槽からは南半分の低所に給水し、地域全体に水圧の差が生じないようにしてある。
万一災害などで断水しても、2、3日は給水出来るし、節水すれば給水日が更に伸びるはずである。
 - 水槽・約50ヶ所に防火水槽がある。赤い看板に白で「防火水槽」と書いてあり、道路には「京都消防・防火水槽」と書いたマンホールの蓋が見られる。この中には雨水が常に貯えられ断水の時の火事には効果を発揮出来るようになっている。
 - 電気・意外に電力の使用量が多く、当初の電力供給計画では不足してくるので、更に電力アップ

- をと中央幹線道路歩道の地下に倍の線を加えて、東部からの線とドッキングし十分な電力供給に対応出来るようになった。
- 放送・・難聴地域のため、テレビ、FM は有線放送になっている。おかげでテレビアンテナの林立はない。NHK 大阪・京都や京都テレビ、テレビ大阪がアンテナの心配せずに見られる。
- 保安・・セキュリティシステムとして、火災、ガス、電気、非常押しボタンの監視が24時間行われている。
- 土壤・・造成した当初はかなり地盤沈下があったようであるが、徐々におさまり現在は問題ない。又、緑の多い街、樹木が枯れにくいように乾燥しにくい土が使われているらしい。
- 石畳・・西地域の石畳道路は香りの花公園前の石はフランス革命時にルーブル美術館前に敷かれていたのを輸入して使っている。輸入当時は馬糞の匂いがきつく、匂い落としに苦労されたようである。
その他の石は中国からの輸入で、損傷があると補充が難しいのである程度の予備を用意してあるようである。
- 会館・・殆どの自治会毎に公園があり、その横に自治会館が建設され、子供の遊び、夏祭り等色々な活動できるようになっており、京都市では珍しい地域である。
- 行政・・入り口には派出所があり、110番対応が出来るようになっている。
- 結び・・これだけいい街、見直された桂坂、折角高いお金でいい環境を買ったのであるから、このよさを把握、活用し、更に安心して住める街に発展するようにと願っている。

2. 桂坂山の手倶楽部にかんしゃ!

第4倶楽部 岡村 英明 氏

山の手倶楽部へは、平成15年7月、ゴルフ分科会とグラウンドゴルフ分科会に同時に入れて頂きました。定年(平成4年9月)後、お礼奉公の再雇用に終止符をうち、自分の時間がより持てるようになったからです。

ゴルフの方は、定年後ラウンドする回数が減り、飛距離も落ちて100を切るのが難しい状態ですが、グラウンドゴルフは性にあっていいのか、先輩方の親切なご指導もあって、大体アンダーパーで廻れるようになりました。

更に、今春からはボウリング分科会にも加入、月2回の練習の他に「割引料金日」の練習を楽しんでいます。見ていると簡単そうなボウリングもやってみると奥が深く、半年たった今も「アベ150」の壁が越せそうにありません。

加えて今夏から写真分科会へも顔を出し、カメラの初歩から手ほどきを受けています。又、先月からはソフトボール(女子の部)の練習にも参加させて頂き、指導者の方をハラハラさせています。

老人福祉は「貧困・病気・孤独」の克服とされています。

幸いにも私は、71歳を過ぎた今、貧乏ではありますが無病息災、「交流の輪」が広がっていることが嬉しく、桂坂山の手倶楽部に感謝する毎日です。

これからも、何事にも「臆せず、媚びず、侮らず」常に謙虚で、死ぬまでサミエル・ウルマンの詩にあるような「青春」を全うできたらと願っています。反面、時代の中に柔軟に身を置きながらも、時代の流れに左右されない、凜とした「昭和一桁人間」でありたいとも願っています。桂坂山の手倶楽部の皆様のご指導のほど、よろしくお願いいたします。

原稿応募のお願い

